

冬号

2019
VOL. 16

Contents [目次]

関東KG医療連携会	2P
五反田リハビリテーション病院 医療連携会	2P
石川副院長 特別講演会	3P
モクヨン五反田カフェでの講演	3P
看護部だより	4P
リハビリテーション科だより	4P
職員旅行報告・台北	5P
職員旅行報告・東京ディズニーシー	5P
東京女子医科大学看護学部	6P
音楽部コンサート	
氷川神社例大祭	6P
関東KG合同学術研究大会	7P
私の故郷	7P
医療連携室だより	8P
アクセス	8P

四季
だより

ご
さん
だ



関東KG 医療連携会

令和元年9月10日(火)「第5回 関東KG 医療連携会」を、今年も医師会・急性期病院・療養病院・介護施設・居宅サービス事業所など、日頃より大変お世話になっている皆様方をお呼びして、帝国ホテルにて開催いたしました。第一部では 当グループ蒲池眞澄会長より、グループ創立45周年の歴史について話がありました。第二部では、懇親会を設けさせていただき、歓談の場で列席いただきました皆様と交流を図らせていただくことが出来ました。

今後も皆様方と益々連携を深め、当グループが地域に貢献できるよう、より精進を深めて参りたいと存じます。ご列席いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

医療連携室 加藤 百花



五反田リハビリテーション病院 副院長 石川 卓志医師 講演会

テーマ 行動とイメージ ~脳は間違える~

令和元年11月14日(木)
当院副院長 石川卓志医師による講演会を当院リハビリテーションルームにて開催いたしました。テーマは「行動とイメージ~脳は間違える~」でした。錯視に関するイメージ画像や動画などの紹介もあり、実際に体験をしながら「視覚はだまされることがあるということ。」「視空間と体性空間のずれが危険であるということ。」等を興味深く学ぶことができました。講演には医局・看護部・リハビリ科を含め、様々な職種の職員も参加し、講演を通して学んだ知識を臨床の場で活かしていきたいという声が多く寄せられました。

総務課 緒方 隆也



五反田リハビリテーション病院 医療連携会

令和元年10月24日(木)、五反田リハビリテーション病院にて医療連携会を開催いたしました。今回の医療連携会では、品川区・大田区・港区・目黒区・世田谷区の地域のクリニックの先生方にご参加いただきました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。日頃からお世話になっている皆様へ、当院の実績や取り組みについてお伝えさせていただき、院内の見学やリハビリテーション介入で使用している機器の体験をしていただきました。



その後、リハビリテーション室で懇親会も行いました。お世話になっている皆様にご挨拶ができ、当院の事を今まで以上に知ってもらえる機会にもなり、職員一同とても充実した時間を過ごすことができました。今後も、このような交流の機会を設けさせていただき、お世話になっている医療機関の皆様との交流を深め、連携の更なる発展に繋げて参りたいと存じます。

リハビリテーション科 村谷 翔一
医療連携室 加藤 百花



モクヨン五反田カフェでの講演

健康教室 ~転倒予防について~

令和元年10月24日(木)、品川区立五反田図書館主催の認知症カフェであるモクヨン五反田カフェにおいて、近隣にお住いの方々を対象に「健康教室~転倒予防について~」というテーマで講演させていただきました。在宅生活を営んでおられる方々へ知識やアドバイスをお伝えするのは、普段とは違った緊張感がありました。結果としては、質問や相談をたくさんいただけたことで、興味を持っていただけたことが分かり一安心です。また、20名超の方々にご参加いただき、会場がいっぱいであったことも嬉しいことでした。

今後も当院へ入院された方へはもちろん、近隣にお住いの方々へも何らかの形で貢献できるように励んでいきたいと思っております。

今後とも五反田リハビリテーション病院を宜しく願います。

リハビリテーション科 村谷 翔一



看護部だより



… お月見レクリエーション …

令和元年10月2日(水) お月見レクリエーションを行いました。
 先ず、水戸黄門体操を行いました。
 皆さん、歌を歌いながら気持ち良く、全身ストレッチをしていました。
 次に人形劇を行いました。皆さんに馴染みのある『竹取物語』は紙で登場人物を型とりその裏に棒を付けることで、動きのある見せ方が出来るように工夫されていました。その甲斐あって、話が進むに連れ皆さん楽しそうに見入っていました。
 「昔、子供に読んであげたのよ」「この話知ってる」など思い出話を始める患者様もいました。短い時間でしたが、懐かしさを感じ温かい気持ちになれる時間となりました。

看護部 飯田 和子



院内旅行 台北 3日間の旅

看護部の職員と台湾へ4人で女子旅行へ行ってきました。
 私にとって海外旅行は20年ぶり(笑)
 初日はガイドさんの案内で龍山寺へ行き、皆で台湾流のお祈りをしました。
 2日目は九份へ! 映画「千と千尋の神隠し」の舞台となった場所を観光しましたが、
 人も多く日本で言う鎌倉みたいな所ですごく素敵な所でした。
 最終日は台北市で買い物やお土産巡りをしました。食事は「夜市」という屋台がたくさんある場所へ行き、台湾ビールを呑みながら小籠包や台湾料理を堪能♪
 タピオカやマンゴーかき氷、台湾マッサージなど…台湾を思いっきり楽しめる充実した3日間でした♪このような機会を頂きありがとうございます!

看護部 大原 ジェニファー



リハビリテーション科だより



自宅で出来るトレーニング ～認知症予防～

認知症を予防するためには、日頃から規則正しい生活習慣や適度な運動、トレーニングを取り入れ、生活していくことが必要です。トレーニングの中には

- ①知的トレーニング(パズルや計算、暗記、間違い探しなど、脳を使うトレーニング)
- ②筋力トレーニング(散歩やストレッチ、ハーフスクワット、プールなど)
- ③ながら運動(デュアルタスク)
- ④食生活の見直し などがあります。その中でも今回は【ながら運動】について紹介します。

* ながら運動(デュアルタスク) *

同時に2つの動作をするトレーニング方法です。例えば、「テレビを観ながら洗濯物をたたむ」といった動作も【ながら運動】になります。このように同時に二つの動作をすることで、脳の血流が活発になり、脳機能の低下を予防できると言われています。ほかには、片方の手を前に出しパーにする、もう片方の手は胸の前でグーの形にします。それを交互に動かしていきます。簡単そうに思えますが、実際にやってみると意外と難しいので、ぜひチャレンジしてみてください!

リハビリテーション科 中野 裕香



交互に動かして

院内旅行 東京ディズニーシー

毎年恒例、この時期は院内旅行があり、今回は同じ部署の同期と行かせて頂きました。たくさんの選択肢があるため、申し込み前からとても迷いましたが、私たちはディズニーシーを選択させて頂き、当日は大変有意義な時間を過ごす事ができました。今回参加したメンバーが他職種ということもあり、普段なかなか話せない仕事以外の内容を話す機会ともなり、より一層、お互いの仲も深まったように感じます。このような機会を頂き、大変リフレッシュする事が出来ました。本当にありがとうございました。

リハビリテーション科 木村 睦



東京女子医科大学 看護学部音楽部 コンサート Concert



令和元年8月30日(金)当院にて
東京女子医科大学看護学部音楽部による合唱コンサートを開催いたしました。
看護学生の方々は、患者様のそばに温かく寄り添って歌と笑顔のプレゼントをしてくださいました。
沢山の患者様と御家族様にお集まりいただき、楽しんでいただくことができました。
今後も患者様が充実した生活が送れるよう、催し物を企画してまいります。
東京女子医科大学音楽部の皆様、いつもありがとうございます！
そして、会を盛り上げてくださった患者様に感謝いたします。

患者サービス向上委員会



第13回 関東KG 合同学術研究大会



研究テーマ：回復期リハビリテーション病棟における尿失禁のある女性患者への「エビデンスに基づいた排尿日誌」を導入した効果

令和元年9月21日(土)関東KG合同学術研究大会が久喜総合文化会館で開催され、第34回 回復期リハビリテーション病棟協会研究大会にて行った研究発表について特別賞をいただきました。

研究テーマは、「回復期リハビリテーション病棟における尿失禁のある女性患者への「エビデンスに基づいた排尿日誌」を導入した効果」です。

患者様がリハビリテーション医療を受けて、自宅に帰る際に課題となるもののひとつに排泄があります。排泄は羞恥心をとめない、尊厳に関わるケアのひとつです。健康なときには、考えもしないことがほとんどですが、体の一部の障がいなどにより、排泄動作を行うことが複雑なからだの動きからなっていることがわかります。私は、排泄に関わるケアの充実を課題として取り組んでいきたいと考え、看護研究に取り組みました。

排尿日誌を用いて尿失禁パターンを抽出し、必要なケアプランを立てて自立支援を行います。発表を通して、排泄ケアは、医療職者と排泄障害に悩まれる方々に関心があり、また社会のニーズも高いと感じました。今後も排泄ケアの充実に向けて活動したいと考えています。

看護部 藤岡 乙美

氷川神社例大祭



地域にある西五反田氷川神社の例大祭が開催されました。
当院からは令和元年9月14日(土)にこども神輿の付き添いと、病院正面玄関にて休憩所としてお菓子や飲み物を提供いたしました。

患者様でこども神輿の様子を見学される方もおり、にぎやかな太鼓の音色や子供達の元気な姿を楽しそうにご覧になっていました。

地域に関わることのできる貴重なイベントなので来年も楽しみにしております。

総務課 小林 透



私の故郷

My hometown

私の故郷は、四国の高知県です。あまり目立たない印象がありますが、良いところが沢山あります。まず高知といえば「よさこい鳴子踊り」毎年8月9日～12日までの4日間行われる高知の一大イベントです！全国各地のチームが集結し、鳴子を持った踊り子たちが音楽に合わせて市内を踊り、観客共に一丸となるお祭りです。夏以外では自然に触れ合う場所がおすすめです。中でも季節によって色が変化する仁淀川は、8月から1月頃はブルー、それ以降はグリーンに近い色に変わります。光の当たり具合によ

よさこい鳴子踊り



仁淀川



ては水の色は変化し、青色でも空色でもない独特な色は「仁淀ブルー」と呼ばれ、幻想的な風景が広がります。

魚が好き！自然に触れ合いたい！冷たいビールを飲みながら熱いお祭りを観たい！そんな皆様！是非、高知県へ足を運んでみてください。

リハビリテーション科 平山 茉実



医療連携室だより

患者様が治療・療養に専念できるよう、患者様・ご家族様はもちろんのこと、当院スタッフ、病院・介護施設、在宅医療・福祉サービス提供事業者と密に連携を取り、様々な問題を共に考え、よりよい解決への糸口を見出すお手伝いをしています。退院後の社会福祉制度や各種サービスの紹介、諸手続きのサポート、在宅・社会復帰に向けて必要な施設等の情報提供など幅広く対応しています。患者様及びご家族様の気持ちをしっかり受け止め、次に進むためにどうするかを、家族構成や生活背景に合わせて個別に対応するよう心がけています。どんな些細なことでも構いません。お気軽にお声かけください。



医療連携室 ソーシャルワーカー一同

制服リニューアルしました!!



医療連携室

医療連携室の受付時間
9:00~16:30 (月~土曜日)

入院相談
加藤・森本・町田

病棟担当
小又・石塚・三浦・黒木・松澤・関口・志田・宮田

☎ 03-3779-8826 (直通)

四季だより
ごたんだ
冬号
2019 VOL. 16
令和元年12月

一般社団法人巨樹の会
五反田リハビリテーション病院

広報委員会
〒141-0031
東京都品川区西五反田8丁目8-20
TEL 03-3779-8820
FAX 03-3779-8823



- 五反田駅 (JR山手線、都営地下鉄浅草線、東急池上線) 徒歩8分
- 大崎駅 (JR山手線、埼京線、りんかい線) 徒歩12分
- 大崎広小路駅 (東急池上線) 徒歩3分

P 大崎広小路駅交差点角にコインパーキングがあります (88台収容)